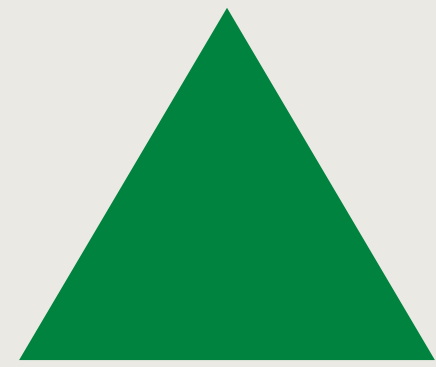
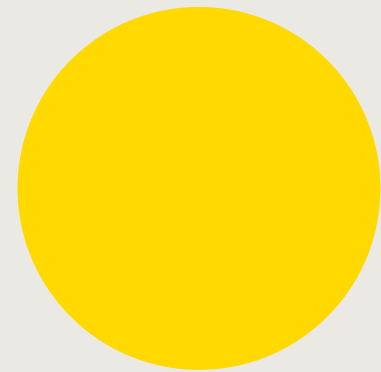




デザイン都市・神戸



City of  
Design  
KOBE



Member of the UNESCO  
Creative Cities Network  
since 2008



デザイン都市・神戸

# City of Design KOBE

Member of the UNESCO  
Creative Cities Network  
since 2008





BE KOBE



## 「デザイン都市・神戸」とは？

神戸には、山と海に囲まれ自然に富んだ「まちなみ」、異国文化を積極的に受け入れる開放的で自由な気風・風土が作り出した「くらしの文化」、ケミカルシューズ・洋菓子・日本酒・真珠などに代表される「ものづくりの技術」などの資源や魅力があります。また、1995年の阪神・淡路大震災からの復興が、市民の助け合いとまちづくりへの参画により成し遂げられたことも、神戸の誇りです。震災から20年を機にシビックプライドとして掲げたメッセージ「BE KOBE」は、「神戸の魅力は人である」という思いを集約しています。

「デザイン都市・神戸」とは、すべての市民が、こういった神戸らしさを以下の5つのデザイン視点で見つめなおし、協働と参画によって、神戸の新たな魅力を創造する都市のことです。

1. くらしを豊かにするデザイン
2. 個性と魅力を活かすデザイン
3. 経済を活性化させるデザイン
4. 創造力を高めるデザイン
5. 心を育み次世代につなぐデザイン

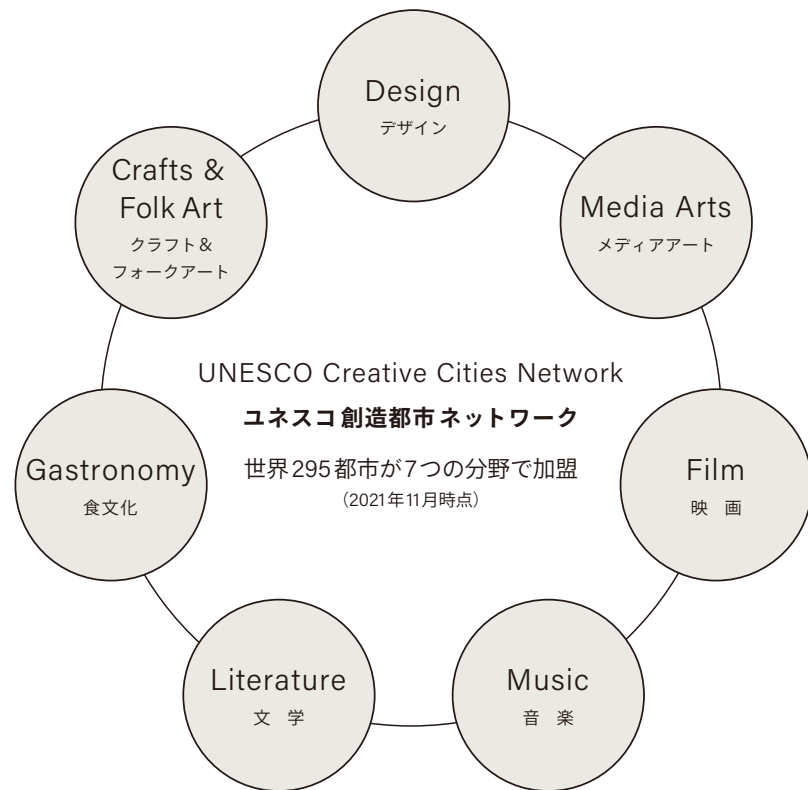
神戸市が考えるデザインには、目に見える「色や形」だけでなく、より暮らしやすいまちをつくるための「工夫」や「仕組み」も含まれています。

神戸市は、市民一人ひとりが創造力を発揮してまちづくりに参画し、デザインの視点によって、産業振興や防災、福祉、子育てといった身近な課題に向き合い、誰もが幸せを感じるまちをつくっていきます。

## 「デザイン都市・神戸」のネットワーク

### 世界中の“創造都市”<sup>※1</sup>との連携・相互交流

神戸市は、1868年の開港以降異国文化をまちづくりに取り入れてきたことや、震災からの復興を市民の力で成し遂げたことなど、神戸の豊かな創造力を評価され、2008年10月16日に「ユネスコ創造都市ネットワーク」<sup>※2</sup>のデザイン都市として認定されました。このネットワークを活かし、海外都市と協力してクリエイターを相互派遣したり、神戸の取り組みを発信したりするなど、海外都市との交流・連携をすすめています。また、国内でも「創造都市ネットワーク日本」<sup>※3</sup>に加盟する創造都市・創造農村と交流を重ね、相互に発展することを目指しています。



※1 創造都市：「文化芸術の持つ創造性を活かした産業振興や地域活性化」に取り組む都市のこと（文化庁HPより）  
 ※2 「ユネスコ創造都市ネットワーク（UNESCO Creative Cities Network=UCCN）」：  
 異なる文化の相互理解をめざすユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が、世界の“創造都市”の連携による相互交流を支援するため、2004年に創設。上図参照。  
 ※3 「創造都市ネットワーク日本（Creative City Network of Japan=CCNJ）」：  
 創造都市の取り組みを推進する地方自治体等で構成される。

## 創造と交流の拠点

### デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）

デザイン・クリエイティブセンター神戸は、「デザイン都市・神戸」の創造と交流の拠点として、旧神戸生糸検査所を改修し、2012年8月に開館しました。かつて輸出生糸の品質検査を行っていた歴史にちなみ、KIITO（きいと）という愛称で呼ばれています。当時の面影がそのまま残されている館内には、貸しホールやギャラリー、会議室、オフィス入居スペースなどがあり、デザインやアートにまつわるゼミや講演、展覧会、イベントなどを開催しています。アーティストやデザイナーだけでなく、さまざまな人や世代が交流し、そこから生まれるアイデアや工夫で社会的な課題を解決し、新しい神戸をつくる、創造性の発信の中心地になっています。



〈デザイン・クリエイティブセンター神戸の建物概略〉  
 所在地 神戸市中央区小野浜町1-4  
 構造 旧館：鉄筋コンクリート造4階建  
 新館：鉄筋鉄骨コンクリート造4階建  
 敷地面積 8,601㎡  
 延床面積 13,779㎡  
 完成年 旧館：1927年 新館：1932年

## 「伝わる」広報をめざして

### クリエイティブディレクター

神戸市は、豊かな発想をもとに施策の立案やまちの課題解決を行っています。ただ、魅力的な施策も「伝わらない」ことがあります。それらの多くは、デザイン力で解決できます。「伝える／伝わる」ことが日々求められる職員に、デザインの観点が必要なのはそのためです。平成27年度から、デザイン分野で活躍する専門家を「クリエイティブディレクター」として採用しており、令和4年度からは、デザイン／映像／コピーの分野に拡充しています。主な役割は、職員向けのデザイン／映像制作研修、施策全般の協議、広報物の制作です。各分野の専門家が職員との広報物制作を通じ、広く神戸市のデザイン力向上に務めています。



# まちのデザイン

地域の個性を活かした魅力ある空間で、  
にぎわいと楽しさにあふれ、  
市民がやすらぎやこちよさを感じられるまちをめざします。

## 人が主役となる居心地の良いまち ～都心三宮再整備～



三宮クロススクエア

鉄道が集中し、多くの人が集まる神戸の玄関口「三宮」を、「人が主役のまち」「居心地の良いまち」をテーマに、快適で利便性が高く、にぎわいが生み出され、市民がわくわくするようなまちに再整備します。三宮交差点を、人と公共交通を優先する空間へ転換する「三宮クロススクエア」や、停車スペースにウッドデッキを設置する「KOBEパークレット」など、道路空間のリデザインを進め、人々が憩い・にぎわう空間をつくります。また、大きな国道で隔たれた街の分断感を緩和する「渡りたくなる歩道橋」の整備など、都心の回遊性向上を進めています。



KOBEパークレット

## 誰にでもやさしいまち



案内サイン



連節バス「Port Loop (ポートループ)」

初めて神戸に来た観光客や障害のある方、外国の方など、すべての人がこちよさを感じられる、誰にでもやさしいまちをつくります。まちをスムーズに移動できるよう、案内サインの表記やフォントを分かりやすく工夫し、神戸らしい景観を形成するデザインに統一しています。また、都心からウォーターフロントエリアを快適に回遊できるよう、新たな公共交通システムの導入検討の一環として、令和3年4月より連節バス「Port Loop (ポートループ)」を運行しています。

## 神戸らしい景観を活かすまち



歴史的建築物等の保全・活用



フラワーロードの夜間景観

六甲山系と瀬戸内海の自然や、異国情緒あふれる市街地の風景、六甲山からの夜景といった神戸らしい景観を、市民とともに、まもり・そだて・つくります。神戸に数多く存在する近代建築物や地域の文化を伝える古民家の「神戸市指定景観資源」等指定による保全・活用や、フラワーロード、旧居留地、ハーバーランドなどの地域の特性を活かした夜間景観づくりにも取り組んでいます。

# くらしのデザイン

市民がすぐれたデザインに出会い、創造性を育むことによって、  
多様なライフスタイルを尊重し、地域に愛着を感じ、  
いきいきと暮らせるまちをめざします。

## 多様な人と文化の交流



ファーマーズマーケット

諸外国から伝わったジャズや映画、ゴルフ、パン、紅茶といった文化に富み、農村と都市が混在する神戸において、多様な人と文化の交流を生み出します。地産地消をテーマに、三宮の東遊園地や西神中央駅前等で農産物を販売する「ファーマーズマーケット」や、世代や分野などの壁を超え、市民・クリエイター・エンジニアなどが集まり、交流するクロスメディアイベント「078KOBE」のようなイベントなどを通して、神戸の新たな価値をつくり上げています。



078KOBE

## こどもの創造性を育む



CREATIVE WORKSHOP ちびっこうべ



KIITO:300 看板製作ワークショップ

これからの神戸の担い手である子どもたちが未来を生き抜く力をつけられるよう、こどもの創造性を育む取り組みを行います。子どもたちが様々な分野のクリエイターから職能を学び、一緒に夢のまちをつくる体験型プログラム「ちびっこうべ」や、「本物に出会う体験」をテーマにしたプログラム、自由なものづくりを楽しむワークショップなど、様々な創造的活動の機会を提供しています。また、教育・子育てに関わる個人や団体、学校関係者や、子ども向け事業を展開する企業など、多様な分野の人々が集まり、地域社会全体でこどもの創造性を育む取り組みを進めています。

## 地域・社会の課題を解決する



KIITO:300 (キイト サンマルマル)



男・本気のパン教室

2021年、KIITOの3階に、子どもたちの好奇心と探求心を刺激し、創造性を育む拠点「KIITO:300キャンプ」と、だれもが社会貢献に取り組み、交流できる拠点「KIITO:300ファーム」の2つの機能を持つ「KIITO:300」(キイト サンマルマル)を開設しました。「KIITO:300ファーム」では、市民が社会貢献活動や地域活動に意欲的に取り組むための支援を行っており、ワークショップ、セミナーの開催や、大学との連携事業などを実施し、様々な人材の交流を生み出しています。また、超高齢社会の課題に対する取り組みとして実施している、高齢者対象の「男・本気のパン教室」では、学んだ技術を地域のために活かし、高齢者が地域とつながることで、活気あるまちづくりにつながっています。

# ものづくりのデザイン

すぐれたデザインによる付加価値の高い

ものづくりを応援することによって、

新たなマーケットを作り出す元気な産業のまちをめざします。

## 神戸ブランドの発信



神戸コレクション

広く神戸ブランドとして知られる、アパレル、ケミカルシューズ、真珠加工、清酒、洋菓子、パン、コーヒー、スポーツ関連などの生活文化産業をファッション産業として振興し、その魅力を発信しています。秋には、「神戸コレクション」や「灘の酒蔵探訪」などの「衣・食・住・遊」を楽しむ様々なイベントや、地元の商業施設等が実施するイベントを「City Cruise (街のクルージング)」というコンセプトで繋ぎ、「Kobe City Cruise Weeks」として集中的に発信しています。



灘の酒蔵探訪

## クリエイターと企業のプラットフォーム



KOBE CREATORS NOTE (神戸クリエイターズノート)



神戸市×Makuake特集ページ

企業とクリエイターの出会いの場を提供し、ネットワーク構築と新たなクリエイティブビジネスを創出します。クリエイターの活動紹介・クリエイティブ案件情報などを掲載したポータルサイト「KOBE CREATORS NOTE (神戸クリエイターズノート)」の運営を通じて、創造的な企業づくりと、市内クリエイターの支援を行っています。また、中小企業のイノベーション創出・販路拡大支援を促進するため、株式会社マクアケと連携して、神戸の企業が挑戦するプロジェクトを一覧で見ることができる「神戸市×Makuake特集ページ」を開設しています。あわせて、市内中小企業等が「Makuake」のプロジェクトページを制作する際にかかる費用の一部を、市が補助しています。

## ものづくり中小企業の活性化



ミライ経営塾Wonders (ワンダース)



プロジェクト・エングローブ

「デザイン思考」を取り入れたものづくり中小企業の経営戦略作りおよび商品開発を支援し、中小企業の活性化を進めます。ものづくり中小企業とデザイナーをマッチングし、経営戦略にデザイン視点を取り入れるプロセスを体験する「ミライ経営塾Wonders」や、全国から集まった多様な経験とスキルを持つクリエイティブ人材と市内企業がチームとなり、持続可能なビジネスを創出するESGの観点を取り入れたプログラム「プロジェクト・エングローブ」を行っています。

「デザイン都市・神戸」の取り組みや情報を発信中

デザイン都市・神戸 

<https://design.city.kobe.lg.jp/>